

★ Jeans



ニッポン見聞録



講演先で感じること

学校の先生や子どもたち、自治体職員などを前に、講演する機会がよくあります。そんな時、僕自身が日本の学校で受けた外国人差別の体験を話すことにしています。残念ながら、差別は今もなくなっています。し、自分の過去を人前で話すのはとてもつらいことですが、何かが変わることを信じて続けています。

地元の三重県だけでなく、大阪府や、奈良、和歌山、岐阜、愛知の各県にも行きました。各地を回ること、いろいろな情報を得ることがで

具志アンデルソン(25) ブラジル

きますし、1人でも多くの人に、僕の体験を聞いてほしいからです。最初から最後まで熱い視線ですつと聞いてくれる人、自分のことのように共感して涙を流してくれる人。壇上からそういう姿を見つけると、胸が熱くなります。幼いころからいじめられていたという高校生が「苦しかった思い出に立ち向かっている具志さんを見て、おれもがんばれそうな気がしてきた」と感想を寄せてくれたこともありました。

講演先での反応から、知らず知らずのうちに差別をしてしまう人いることがわかってきました。現状を少しでも変えるため、どこへでも出かけて、一度でも多く語っていきま

す。
(国際化対応教育指導員)